

品質トラブルの未然防止セミナー

ー 品質トラブルを組織的に撲滅するための組織づくり・風土づくり ー

『トラブル未然防止の基本原則』と『7つのステップ』を通して、「未然防止の考え方」「安全文化の構築」「トラブルを組織的に撲滅するシステムづくり」を理解していただけます。

未然防止活動に携わる方、未然防止の体制づくりをねらう方にお勧めのセミナーです。

■未然防止の7つのステップ

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ①未然防止への動機付け | ⑤万一の事故発生に向けての事前対策の策定 |
| ②リスクの事前抽出（ハザードの列挙） | ⑥リスク管理の仕組みのさらなる改善 |
| ③リスクの事前評価 | ⑦仕組みの定着化と安全文化の確立 |
| ④リスク評価後のアクション（事前の安全確保） | |

対象

対象階層：係長・主任～部長 / 対象部門：全般

特徴

- ・「未然防止7つのステップ」を通して、トラブルの起こる原理と未然に防ぐための取り組み、そしてそれらを組織・システムとして運用するための知識・ノウハウを効果的に学べます。
- ・ステップ別に具体例を入れて論理的に解説します。

カリキュラム

1 日目 (9:20 ~ 17:00)

未然防止の原理とそのシステム（概論）ー未然防止への7ステップとそのシステムー
実際例によるエラー防止のノウハウ（ステップ別）
総合質疑

日程・受講方法

第1回	2023年 6月29日（木）	ライブ配信
第2回	2023年 11月13日（月）	ライブ配信

参加費

一般：42,350 円／会員：36,300 円 ※税込み

指導講師（順不同）

鈴木 和幸 氏（電気通信大学名誉教授・特任教授）
大石 修二 氏（電気通信大学 産学連携研究員／㈱インテグレイト 代表取締役）

参加者の声

- トラブルの未然防止と言っても何から手を付ければよいのかわからなかったが、順を追って学習することにより、自社に還元できると思う。
- 品質トラブルの未然防止に関する「考え方」「手法」など理解することができ、品質トラブルの事前抽出の重要性和FMEAの活用、主旨を理解することができた。
- 今回は品質保証の立場で来ているが、設計者等の製造工程の源流の担当者も聞くべき内容を多く含み、有益であると感じた。
- いろいろな業界のデータを見ながらの説明を聞いたので、業界の動向なども知ることができてよかった。

なぜ未然防止が必要なのか？

品質危機を取り巻く経営環境

- ・企業のグローバル化にともなう環境の変化
- ・コスト競争の激化
- ・海外生産における品質の造り込み
- ・海外調達における品質の確保
- ・新興国市場の拡大

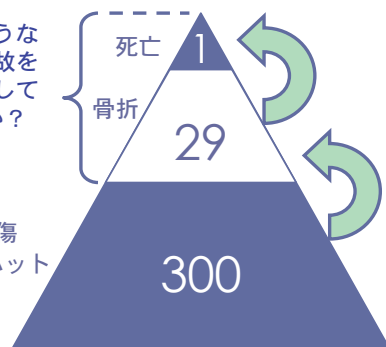
- ・変化のスピードアップへの対処
- ・短納期開発：納期・コスト＞品質
- ・人財・技術面の変化
- ・技術伝承のあり方（固有技術のアウトソーシング傾向）
- ・雇用形態の変化

非常にタイトで厳しい環境での製品開発・ものづくり

重大事故・致命的欠陥の可能性
～重大事故のタネを見逃していませんか？～

このような
重大事故を
いかにして
防ぐか？

かすり傷
ヒヤリハット



ハインリッヒの法則

1 件の重大な事故や災害の背後には、29 件の軽微な事故や災害があり、さらにその背後には 300 件のヒヤリハットがある、という考え方

かすり傷やヒヤリハットの経験を、未然防止へ活かす取り組みが必要！

- 1 日常的な小さなトラブルから、重大事故の予兆を捉え、未然防止につなげられる**人財育成**
- 2 **安全**を重視し、企業の**文化**として定着させられる**風土**
- 3 未然防止の取り組みを有効に実践できる**組織・しくみ**



このような課題への有効な取り組みが「未然防止の7つのステップ」です！

未然防止の7つのステップ

1. 未然防止への動機付け
2. トラブルの事前抽出（トラブル情報の共有と予測）
3. リスクの事前評価
4. リスク評価後のアクション（事前の安全確保）
5. 万一の事故発生に向けての事前対策の策定
6. リスク管理のしくみのさらなる改善
7. ステップ1～6の定着化と安全文化の確立

「未然防止の7つのステップ」は、品質トラブルの未然防止に向けた具体的な取り組みと、それらが企業・業務にきちんと定着し、効果をあげられる風土づくりを支援する進め方です。

～ Web ページからお申込みいただけます～

- 日科技連ホームページ <http://www.juse.or.jp/>
- セミナーサイト <http://www.juse.or.jp/src/seminar/>
- セミナー・事業検索からキーワード検索またはカテゴリーを選択し、ご希望のセミナーをお選びください。
- 各セミナー詳細ページの日程表から、申込みフォームへアクセスできます。
- 申込みフォームからお申込み後、セミナー受付より自動返信メールが届きます。
- Web からのお申込みが難しい場合は、下記項目を受付宛へ E-mail にてお送りください。



メールタイトル：日科技連セミナー申込み / 受付 E-mail : regist@juse.or.jp

- ① セミナー名：第●回 ●●●●●セミナー
- ② 開催初日：●月●日
- ③ 連絡担当者の氏名、所属、役職と連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ④ 参加者名（ふりがな）
- ⑤ 参加者の会社名、所属、役職
- ⑥ 参加者の連絡先（住所、TEL、FAX、E-mail）
- ⑦ 【ライブ配信セミナーのみ】参加者への講義資料の配送先（会社またはご自宅）

～お申込み受付から受講まで～

- 開催の約1ヵ月～3週間前に「開催のご案内」などの必要書類を連絡担当者様へ送付いたします。
- お支払いについての詳細は、請求書に記載しておりますが、原則として請求書発行後2ヵ月以内に請求書に記載の指定口座へお振込みください。
- ライブ配信セミナーの講義資料は、開催の7営業日前に配送いたします。
- セミナーによっては同業他社からのご参加はお断りする場合があります。
- キャンセルと振替受講の取り扱いについては、p.42 をご参照ください。
- お申込み、参加にあたっての注意事項は web ページにてご案内しております。
<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/jusesanka>

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL : 03-5378-1222 E-mail : regist@juse.or.jp

※平日 9 : 00 ～ 17 : 00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話が繋がらない場合は E-mail でご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季／年末年始休暇などの連絡は受付していません。

キャンセルと振替受講の取り扱いについて

キャンセルの取り扱いについて

- セミナーをお申込みいただいた後、止むを得ない事由により参加者の都合が悪くなった場合には、恐縮でございますが、できるだけ代理の方のご参加をお願い申し上げます（セミナー開催途中の参加者の変更は不可）。
- セミナーの参加をキャンセルする場合には、セミナー受付に電話、Eメールにて事前にご連絡をお願いします。なお、その際、ご連絡の日にちにより、次のキャンセル料をご負担いただきます。
- 宿泊や班別研究会などを伴う一部のセミナーについては、下記とは異なるキャンセル料を設定しておりますのでご注意ください。

キャンセル料

- ・セミナー開催日の7営業日前～1営業日前の17:00までのキャンセル：参加費の50%
- ・セミナー開催日の1営業日前の17:00以降のキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合：参加費の100%

* ○営業日前とは、土日祝祭日・日科技連休業日を除いた日数のことです。

テキスト事前送付のセミナーのキャンセルについて

- テキストを事前送付するセミナーで、すでに開催通知、テキストがお手元に届いている場合のキャンセルについて、上記のキャンセル料が発生する場合は、テキスト費用はキャンセル料に含むものといたします（テキスト返却は不要です）。
- キャンセル料が発生しない期間のキャンセルの場合は、お手元に届いているテキストをご返送ください（送料はご負担ください）。なお、テキストに書き込み、折れ、汚れ等がある場合にはテキストの実費をご負担いただきます。

セミナーの振替受講について

- お申込みいただいたセミナーに参加者が受講できず、また、代理の方がいない場合は、年度内に開催される同じセミナーに「振替受講」ができます（複数回開催のセミナーのみ）。
- 「振替受講」は、1度目は無料ですが、2度目以降は通常の参加費に加え、参加費の10%を振替受講手数料として申し受けます。
- 振替受講を希望される場合には、できるだけお早目にセミナー受付に電話、Eメールにてご連絡をお願いします。

(2023年1月現在)

【セミナー申込み・振替・キャンセルに関する連絡先】

日本科学技術連盟 セミナー受付 TEL: 03-5378-1222 E-mail: regist@juse.or.jp

※平日 9:00～17:00 の対応となります。

※現在テレワークの併用を行っております。電話が繋がらない場合は E-mail でご連絡ください。

※土曜・日曜・祝日および夏季／年末年始休暇などの連絡は受付していません。

「ライブ配信セミナー」参加に関してのお願い

お申込みの期限

ライブ配信セミナーへのお申し込みは開催日の4営業日前までにお願いします。

参加者変更は、セミナー開催の3営業日前までの対応となります。

受講（視聴）環境について

- (1) ライブ配信セミナーをご受講いただくために必要な視聴環境（パソコン等のハードウェア、ブラウザ等のソフトウェア、通信環境等）をご用意ください。必要なシステム環境基準を満たしていない場合、セミナーの受講ができない可能性があります。各コースのセミナー詳細ページ（web サイト）、開催のご案内で詳細をご確認のうえ、予め、ご準備いただくようお願いいたします。また、受講 URL、ID、パスワードの管理は受講者が責任をもって管理してください。
- (2) 開催日の7営業日前までに必ず視聴テストを行ってください。万が一、事前の視聴テストにおいて何等かの理由により視聴ができなかった場合、キャンセル料は頂戴いたしません。

ライブ配信セミナーの受講にあたって

(1) 著作権、商標権、特許権等の知的財産権

受講者は、オンラインライブ配信を通じて提供されるすべての文章、画像、映像、音声、プログラムなどのセミナーコンテンツの著作権などの知的財産権が、当財団に帰属していることを承諾し、これを侵害しないことを誓約するものとします。有償無償問わず、セミナーコンテンツを録画、録音、転載することは法律で禁じられています。

(2) 禁止行為

- 1) 複数名でセミナー動画を視聴すること（動画をプロジェクター等に投影して複数名で視聴することも固くお断りいたします）
- 2) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で転載すること
- 3) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で第三者に貸与又は譲渡すること
- 4) セミナーの動画・コンテンツの一部または全部を当財団に無断で改変もしくは要約すること
- 5) 当財団又はセミナー講師、その他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為（かかる侵害を直接又は間接に惹起する行為を含みます）
- 6) コンピュータウイルス、その他の有害なコンピュータプログラムを含む情報を送信、インストール、アップロード、その他の方法により使用する行為
- 7) 当財団が許諾する方法以外の方法で、動画・コンテンツをダウンロード、キャプチャー、保存する行為
- 8) セミナーに関するソフトウェア、テキスト、画像、動画、その他コンテンツ に対し、複製、修正、翻案する行為
- 9) その他、当財団が不適切と判断する行為

(3) オンラインシステムの運用・中断・停止

当財団は、オンラインシステムを良好な状態でご利用いただくために、事前に受講者に通知することなく、システムの全部または一部を中断することがあります。

- ・定期保守や緊急保守を行う場合
- ・システムに負荷が集中した場合
- ・システムの運営に支障が生じると当財団が判断した場合
- ・受講者のセキュリティを確保する必要性が生じた場合
- ・通信設備の故障、停電などの第三者の責によりオンラインシステムが提供できなくなった場合
- ・天災地変などの不可抗力によりオンラインシステムの提供ができなくなった場合
- ・その他、オンラインシステムの提供ができない事由が発生した場合

本項事由に基づき当財団が行った措置により、受講者に生じた損害についての責任を負いかねます。

(4) 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、公官庁の指示等、当財団が管理できない事由により、研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当財団では責任を負いかねます。

通信回線、コンピュータの障害によるオンラインシステムの中断、遅滞および中止等により、受講者に生じた障害については、当財団は一切の責任を負わないものとします。

当財団は、オンラインシステムで提供する情報の完全性・正確性を保証いたしません。

JUSE seminar guide 2023

TQM

<https://www.juse.or.jp/>

一般財団法人 日本科学技術連盟

品質経営推進センター 品質経営セミナー担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL : 03-5378-1213 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp

*本ガイドは日科技連ホームページから PDF をダウンロードできます。